

インタビューの内容

① 家族構成

② 趣味

③ 特技

④ 2011年心に残った出来事

⑤ 新年の抱負

⑥ 将来どんな町になって欲しい？

84歳

昭和3年生まれ



紺野 五月さん (萩野)

- ① 夫、娘夫婦の4人家族  
(お邪魔したときは、お孫さんが出産で帰省中)
- ② 折り紙でいろいろなものを作ることです。
- ④ 東日本大震災が発生したこと(しばらくの間体が揺れている感じだった)と、ひ孫が生まれたことです。
- ⑤ 好きな折り紙の作品づくりを人に教えることと庭に咲く花を眺めながらおだやかに生活することです。
- ⑥ 東日本大震災を通して、白鷹町は本当に災害が少なく、良い町だと思いました。このまま自然に恵まれた災害のない町であってほしいです。

72歳

昭和15年生まれ



橋本 一男さん (畔藤)

- ① 妻、息子夫婦 孫3人の7人家族  
(一男さん、嫁さん、お孫さんも辰年生まれ)
- ② いろいろな土地のものや骨董品などを集めることです。
- ④ 東日本大震災の発生と、自分が役員をしていた畔藤ほ場整備の償還が終了したことです。
- ⑤ 特別なことはなくても家族が健康で暮らせるように願っています。
- ⑥ 白鷹は、自然が豊かでこのままでも十分だと思いますが、孫たちが大人になった時、ふるさと(白鷹)は良い町だよと言えるような町になってほしいです。

辰



2012

すべての年男・年女の皆さんにとって今年1年が良い年でありますようお祈りいたします。